

承認番号	2020-040
研究課題名	分枝型IPMNに対する悪性化のリスク因子および高齢者の経過観察期間の検討
研究の意義・目的	膵管内粘液性腫瘍（IPMN）は膵癌の危険因子とされ、経過観察にはIPMN診療ガイドラインが用いられている。High risk stigmata及びWorrisome features等の危険因子を認めない分枝型IPMNや高齢者の適切な経過観察については明確化されていない。分枝型IPMNを有する患者での悪性化を評価することで、悪性化の危険因子や高齢者での適切な経過観察期間を明確化することを目的とする。
研究を行う期間	承認後 ～ 2023年12月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2014年1月～2018年9月までの間に超音波内視鏡検査（endoscopic ultrasound：EUS）を行った初回の分枝型IPMNが疑われる方のうち、1年以上の経過観察が可能であり、膵癌の併発がなく、High risk stigmata及びWorrisome featuresを認めない分枝型IPMNに限局した方が対象となります。
願う内容	大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。 診療記録より、患者様の基本情報、血液検査、EUS検査結果、CTもしくはMRI検査結果、初診日・最終外来受診日、生死、病変の悪性化の有無を研究に使わせていただきます。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 病院講師 丸山紘嗣
この研究を行っている施設（共同研究機関）	なし
代表施設のURL	https://ocu-gastro.jp/for_patients/clinical-study/
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報には公表しません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813